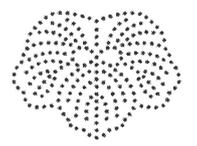


「りゅま伝」は高野の分身がお客様のとろへご挨拶に向う。という気持ちでお届けしています。



# りゅま伝

29号  
2022年4月26日  
高野 竜馬

## 「自転車盛特訓」

「アナタ、責任を取ってくださいね。」  
妻の叱責に力なく、うなだれる  
FPPの高野です。

それは先日、娘の中学入学準備のために通学用自転車を買いに行った時のことです。今までも持ってはいましたが、日頃乗る機会も少なく、お世辞にも上手とは言えません。それどころか中学生サイズの新車を試乗すると、「本当に運転できるのかいな？」と思えるほどフラフラしている危険極まりないのです。それもこれも小さい頃から甘やかせて育てた私の責任だと妻は言いたげです。確かに家からわずか300mの公園に行くのも抱っこ、何処に行くにも抱っこで育ててきました。

抱っこして、ホッペにスリスリするのが私の趣味でした。

あまりにスリスリするものから、私のヒゲでひっかき傷が出来る、幼稚園の先生に虐待疑惑を持たれたほどです。

その時はベテラン先生の「なっちゃん」の傷はお父さんのラブひげよの一言で難を逃したためですが……。

さて、そんな愛娘の異変に気づき始めたのは5歳の時のことです。娘は弟ができるの見事に赤ち。人返りを果たしました。

そして8歳くらいから、3歳の弟のベビーカーを奪って、弟が歩くという構図ができあがってきました。そのツケが見事に回ってきたのです。

「こりこりいかん」ということで、春休み、中学校までの道のりを練習するにしました。

3月23日から片道3kmの道のりを私がジョギングで伴走しながら指導したのでした。

フルマラソンにも時間もかかる竜さんランナーの私は下手な娘の自転車についていくのも必死。それに加えて「俺も稽古をつけさせてやる」と出しゃばる息子。

娘が乗る自転車を追っかける私と息子。往復6kmの道のりを走って帰ってくると、ソファーにぐったりする娘を横目に息子はケロッとテレビゲームに向かいます。それを見て、また複雑な気持ちになる私。

18日間で13往復、のべ80kmの特訓で鍛えられたのは私の方でした。実際の通学時間に合わせ、通学ルートもちょうど以上試して、娘の入学式はわっ、ききました。

練習白の甲斐あって、安心して送り出せるようになりました。

そうして、やっとホッとしていると「お父さん、あと2km余分に走れるようになったら、自転車で九大にも行けるね。九大だったからチから一番近くて交通費もかからんし、国立だから授業料だって安い……」

教育的視点というより、家計の事情からの発言ではありませんが、今後は体力だけでなく学力も問われることになりそうです。

この春先、東京の大学にお子さんを送り出した先輩パパママが妙に輝いて見えるようになりました。



たかの財形事務所  
〒819-0374 福岡市西区千里 707-13  
☎090-3407-2123  
<https://www.takanozaikai.com> x-ll fp.takano@gmail.com

いつも応援してくれて有難うございます。